

# 平成 28 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,861,828円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

## ●利用状況

		H28 下半期	H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	8,624	9,688	8,594	10,512	9,482
	移動児童館利用者数	475	386	440	313	360
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	15	11	11	10	12
	開館日数(単位:日)	151	157	151	156	151

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は、所長を含め3人) ③センター便り、幼児用センター便りを発行・担当小学校へ配布、館内に行事及び幼児クラブの案内掲示、児童館ホームページ掲載。ぶりあネットへの登録。 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、エアコンの適正温度の設定等による節電を実施。節水の実施。事業において廃材の再利用に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>平成28年12月7日(水)～16日(金)に幼児クラブ参加の保護者を対象にアンケートを実施 回答者50人(回収率100%)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○職員について あいさつ 満足39人(78%)、ほぼ満足7人(14%)、普通4人(8%) 言葉遣い 満足40人(80%)、ほぼ満足7人(14%)、普通3人(6%) 対 応 満足40人(80%)、ほぼ満足5人(10%)、普通5人(10%) ○施設について 整理整頓 満足39人(78%)、ほぼ満足8人(16%)、普通3人(6%) 使いやすさ 満足37人(74%)、ほぼ満足10人(20%)、普通3人(6%) ○意見等 いつも楽しく利用させていただきました。ありがとうございました。 いつも工夫されている活動で大変楽しく参加させていただいています。準備等ありがとうございました。 いつも活動内容もたのしく、子どもも喜んで参加していました。次回も楽しみにしています。 いつも子どもの名前を呼んで声をかけてくださり、心づかいがとて素晴らしいです。ありがとうございました。 他 【自由参加のクラブ参加の方にご意見】 気楽に参加できるのが嬉しいです。自由参加がいい。 毎回楽しく参加できました。とても楽しかったです。 子どもも大人もいつも楽しく参加させていただいています。これからも楽しい企画をたくさんしてください。 子どもと楽しく物を作るというなかなか家ではユックリできないことができとても良かったです。 他</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望 ⇒ 回答 遠足の場所について、長良公園だと広すぎて保護者が大変だと思いますので、もう少し狭い公園が良い。 ⇒ 近くの公園がリニューアルのため3月まで使用できないこと、駐車スペースが十分にあるため長良公園にしました。今後皆さんの意見を取り入れながら実施します。 遠足は最初のかげっこみたいなことを、もう少しやってほしかったです。 ⇒ 1歳のお子さん対象としたクラブですので、体力的な差が大きく、いちばん月齢の低い子に合わせてかけっこを行いました。もっとやりたいときは、その場でやりたいと言ってもらえると対応します。 駐車がちょっと大変です。お休みした時の工作が作りたかったです。 ⇒ 駐車がどういった点が大変か、お知らせください。今年度中に玄関前の門の隣にあるコンクリートを撤去する予定です。また駐車場がいっぱいになりそうな時は職員が園庭に出ますので、声をかけてください。お休みした時の工作は、時間確保が難しく実施していません。申し訳ありません。材料はお渡しできますのでお申し出ください。 普段寒い日など、暖房の温度を少し上げてもらいたいです。 ⇒ 職員にお申し出ください。ただ、省エネにも配慮しながら温度管理もしていますので、寒いと感じられるときはジャンパーを羽織るなど寒くないようにお過ごしください。 活動している部屋から出て行ってしまわないようにできれば助かります。毎回おさがせして申し訳ありません。 ⇒ 小さい子なので、その時の気分で参加したくない、他の部屋でも遊びたいと思うのが普通なので、出入りは自由になっています。どうしても参加しなくてはいとせず、気楽に参加してください。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□事業の継続的な実施と新規事業実施について 健全育成事業、地域組織活動支援事業、子育て支援事業の継続的な実施と、母親対象にクラフトや前向きな子育てや考え方ができるよう「センセーション・カラーセラピー」の講座を実施した。また新規に母親クラブ協力のもと、い草を使い、お正月飾り用のしめ縄飾り作りと地域の子育てサークル対象に野菜を使ったおやつ、お餅やパン作りなど食育講座を実施し、幼児親子に食育の大切さを学ぶ場を提供した。</p> <p>□広報について 幼児と小学生用の便りを別々にすることで、利用者が児童センターに求めている情報をわかりやすくした。ホームページの情報はこまめに更新することでいつも最新の情報を利用者へ届けるように努めた。館内にも便りや事業の案内を保護者や小学生用に別々に掲示し、利用者へわかりやすくした。移動児童館で出かけた際、参加者に児童センターの案内や便りを配布した。中市民健康センターには幼児対象の事業や児童センターの案内を置かせてもらった。</p> <p>□ボランティア募集について 明郷・岐阜・木之本小学校高学年、岐阜中央中学校や岐阜高校に呼びかけ募集を継続的に行った。</p> <p>地域の方にボランティアの活躍を認めてもらえる事業(農作業、大掃除など)を実施した。</p> <p>□地域とのつながり 地域の幼児から小学生が夏休みに看板の下絵を児童センターで描いたものが、3月の青柳公園リニューアルオープン式典で披露されるため参加した。文化祭への参加を本郷まちづくり協議会から依頼を受け、文化祭のステージに出演をした。また木之本校区と新たに金華へも、母親クラブや親子ふれあい教室の協力で作品を作り参加をさせてもらった。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>□アンケート用紙に、やや不満や不満の回答をされた利用者へどういった点が不満なのかを記入できる欄を設けた</p> <p>□アンケート調査に、幼児クラブや事業を欠席した際の作品作りをやりたく記入があり、希望者には柔軟に対応した</p> <p>□幼児クラブの申込書にもクラブで活動したい内容を記入してもらい、子どもの手形足形を利用した作品作りやカンバッチ作りなど希望のあった活動を取り入れた</p> <p>□ボランティア活動を幼児親子などの利用者の目に留まるような活動に広げることで、ボランティアのやる気を育てた</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。会議や研修で学んだことは、職員間で伝達講習を行い、事業に生かした。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団のホームページからも本郷児童センターの毎月の便りが見られるようになり、より広く利用者へ広報できるようになった。ホームページの定期的な更新と状況に合わせた更新により、事業内容など利用者へ詳しくわかるように便りをそのまま掲載した。</p> <p>□各校区の青少年育成市民会議主催の親子ふれあい教室や移動児童館で児童センターの案内や便りを配布し、事業内容を説明し、利用促進を図った</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□子育て支援などの事業に力を注げるよう、職員のスキルアップを図るため研修に参加する</p> <p>□運営委員会や学校運営協議会など児童館活動にも協力をしてもらえよう関係を密にしたい</p> <p>□本郷児童センターの事業を今後も発展をさせるため、地域の方や母親クラブ、NPOと協力して子育て支援や児童健全育成を行っていく</p> <p>□中高生だけでなく大人のボランティアの受け入れも継続して行い、児童センターとしての事業に不足する部分がないように協力をしていただく</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたよりを毎月作成し、担当地区の小学校、公民館、中保健センターに配布するとともに、幼児保護者対象のおたよりを毎月作成しており、それぞれのニーズにあった情報の提供を行った。また、ホームページのこまめな更新や児童センターの事業のPRを行うなど情報発信を積極的に行った。</p> <p>母親対象のクラフトやセンセーション・カラーセラピーなどを開催し、育児に対する母親の心のケアに努めた。また、新規事業として母親クラブの協力のもと、い草を使ったお正月飾り用のしめ縄づくりや地域の子育てサークル対象に野菜を使ったおやつやお餅、パン作りなどの食育講座を開催し、幼児親子に食育の大切さを学ぶ場を提供するなど、前期(平成27年度下半期)より幼児親子の利用者増につながることとなった。</p> <p>地域の小学校・中学校・高校の児童・生徒に対してボランティアの募集を継続的に行い、児童センターの行事(農作業、大掃除など)で活躍場を提供しボランティアのやる気を育てた。また、地元の青柳公園のリニューアルオープンに伴い、児童センターの幼児から小学生が作成した下絵が組み込まれた公園の看板が披露されたことから式典に参加し、地元との連携・交流に努めた。</p> <p>職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>育児に対する母親の心のケアに焦点を当てた講座や、おやつ作りなどの食育講座は、子育て中の母親にとって大変有意義であり、今後も継続して実施していただきたい。</p> <p>塾や部活などで普段忙しい小・中・高校生がボランティアとして児童センターで活躍していることは大変貴重であり、人材を大切にするとともに、今後もつながるようにしてほしい。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
---